

議会だより

からうら

No.40
2007.7.31発行

② 東部広域農道
25年度完成を強く要望
正副議長を選出
監査委員選任に同意
④ 保育所民営化
検討委員会を設置

⑤ 3議員
町の考えをたず
⑧ 新議員10人決まる
⑩ 新しい議会構成
⑫ はばたけ ちびっ子アスリート



☆*~*~* きもちイ〜 *~*~*☆



完成は難しい

6月定例会



東部広域農道 条件を変更してでも早く完成を

議会広報調査特別委員会が 常任委員会に

議員改選前の六月定例会が六月四日から十一日までの八日間開かれ、勝浦町
税賦課徴収条例、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分や、勝
浦町議会委員会条例改正について審議し、全会一致で可決しました。
一般質問は、三人の議員が町の考えをただしました。

地方自治法改正や定数削減に対応
するため委員会条例を改正しました。

- 総務産建常任委員会 6人⇒5人
- 文教厚生常任委員会 6人⇒5人
- 議会広報常任委員会 5人
- 議会運営委員会 5人⇒4人

専決処分

条例の一部改正

◎ 国民健康保険税条例

保険料の最高限度額
五十三万円を五十六万円に。

◆ 専決処分とは ◆

(自治法第七十九条)

普通地方公共団体の長において、
議会を召集する暇がないと認める
とき、長はその議決すべき事件を
処分することができるものである。

東部広域農道整備促進特別委員会

平成25年完成を強く要望

7月19日、改選後初めての委員会が開かれました。

この事業は、徳島市、佐那河内村、上勝町との広域事業で、昭和60年に始まり今年で22年目を迎えております。

会議では産業建設課から平成18年度事業実績3億2,500万円。19年度事業計画1億5,000万円について説明があり協議しました。

午後から、期成同盟会、県農林事務所担当者を交えての合同会議が開催されました。

この事業は平成25年を完成目標に進められているが、県側から進ちよく状況や、予算配分から実現は難しいとの説明がありました。

町、期成同盟会、委員会からは、すでに7割が完了しており、さらに7年経過後も完成が見込めないと言う話では到底納得できない。条件を変更してでも必ず成し遂げるとの約束を強く要望した。



西浜 監査委員

議会選出の監査委員として西浜勝己氏の選任に同意しました。



大西 副議長

副議長選の結果、大西一司七票、無効三票。



川端 議長

正副議長選とも投票となり議長選の結果、川端雅夫九票、無効一票。

議員改選後初の臨時会が七月十二日、十三日に開かれ議長、副議長の選出が行われました。

議長に川端雅夫議員
副議長に大西一司議員
を選出

第一回臨時議会

文教厚生常任委員会

保育所民営化

七月に

検討委員会を設置

五月三十日に委員会を開き、国民健康保険税条例の改正や勝浦病院の決算と、クリーンセンターの状況などについて説明があり審議しました。

勝浦病院事務局長から

十八年度決算状況について説明がありました。

問 一般会計からの繰り入れが常態化している。六割にも満たないベッド稼働率や、施設の老朽化について町長の見解は。

答 病院改築時の起債償還が二十二年度に終了するので、早い時期に経営計画を立てて行く。

住民課長から ゴミ処理やクリーンセンターの現況について説明がありました。

問 クリーンセンター施設の解体や跡地の利用はどうするのか。

答 解体費用への補助金がないか調査し、計画的に基金を積み立て対応する。

福祉課長から 保育所の民営化について、七月に有識者などによる検討委員会を設置するとの報告がありました。

委員から 「公立との差が生まれないか住民の中には不安もある」との意見が出され、議論の内容をしっかりと情報公開できるように要望しました。

委員会として 六月定例会に提案することに同意しました。



民営化が検討されている保育所

委員会ハイライト

総務産建常任委員会

県単急傾斜

受益者負担増で

工事箇所の変更

五月二十九日に委員会を開き、十八年度繰越明許費などの説明があり審議しました。また、会計管理者から勝浦町土地開発公社の経営状況について報告がありました。

産業建設課長から 県単急傾斜地崩壊対策事業の繰越について予定工事の中止と、それに代わる工事箇所の説明があり審議しました。

問 予定工事中止の理由は。

答 予定工事中止の理由は。

答 十八年度より受益者負担が三十%から四十五%になり、負担増が要因と考えられる。

また、繰越は中止に伴う代替箇所を選定等に時間を要したためだ。

参事から 「勝浦町税賦課条例の一部を改正する条例」について説明がありました。

問 税源移譲により所得税が減り住民税が増える。町民への周知徹底が必要だ。

答 広報と町のホームページに載せているが、税金申告時にも説明して理解してもらおうようにしている。

委員会として 提案することを了承しました。



完成した県単急傾斜 (沼江)

勝浦病院 改築計画の具体化を

当面の課題解決が先(副町長)

中西晴美議員



問

勝浦病院建設時の起債が三年後に終わるので、減価償却積立金約五億円を活用して改築を具体的に考える時期だと思いが。

答 前田病院事務局長

移転改築後二十五年が経過し、昨年、外壁塗装を行ったところであり、まだ改築まで考えが至っていない。

答 副町長

今は経営の健全化など当面する課題解決が急務と考えている。



前田病院事務局長

みかん振興に 新しい方策は

問

十八年産みかんの価格が高かったことで、肥料の販売量や苗木の植付けが増えるなど変化の兆しが見られるが、新しい方策

十八年産みかんの価格が高かったことで、肥料の販売量や苗木の植付けが増えるなど変化の兆しが見られるが、新しい方策



みかん作り講座(坂本)

答 倉坪産業建設課長

担い手不足、高齢化など極めて重要な課題もあるが、中山間地域等直接支払制度や県単、町単補助事業を活用して新規就農者の確保などに努めて行きたい。

答 副町長

本町にとつてみかんは基幹産業であり、新しい取り組みとして営農組織「いきいきファーマーズ」では講座の開催、「ふれあいの里さかもと」ではみかん作りの講座を開くなど、積極的に事業を行っている。

子育て支援に 追加予算を



副町長

問

六年ぶりに出生率が上昇したと新聞報道されたが、子育て支援の予算を追加することで勝浦町も出生率が上がるのでは。

答 岩佐福祉課長

厳しい財政状況の中、やりくりした予算であり加算する余裕はない。

答 町長

延長保育、地域子育て支援、七歳児までの医療費無料化や第三子の四、五歳児保育料無料化など、他町村に

町財政の現況は

問

類似町村と比較した勝浦町財政の現況は。

答 参事

勝浦町は財政力指数〇・二四(〇・二五) 經常収支比率八十九・五%(八十六・九%) 公債費比率二十三・三%(十五・一%) 一人当たり地方債残高七十四万六千円(九十万六千円) 人口千人当たりの職員数十一・九人(十四・五人)である。

※()カッコ内は類似町村

国保税を減額免除できる 制度に改善しては

条例に基づき 対応している(副町長)

井出美智子議員



今までも所得が減って
払えないということでも町と
交渉を行ったことはあるが、
町の条例に基づく申請減免
が適用されたことはない。
条例はあっても使えない条
例では意味がない。

答 副町長

すでに、
町条例に規

定を設けており、所得等に
より低所得者に対する減額
制度があり、十分対応でき
ている。

問 国保税は前年度の
所得に応じて課税さ
れている。

しかし、今年度になって
失業などにより所得がゼロ
になって、前年度並みの国
保税を支払うことが困難に
なったとき、その実情に応
じて国保税の全部、または
一部を減免する制度に改善
してはどうか。

住宅リフォーム 制度の創設を

問 仕事がないという
建設労働者の声が多

く寄せられている。対策と
して、仕事確保につながる
制度をつくってはどうか。
なかでも住宅のリフォーム
というのは波及効果がたい
へん大きい。一件のリフォ
ームには、大工、左官、電
気など十数職種が関連して
おり、地元の建設業者を活
気づけられる有効な施策で
ある。

答 町長

補助事業と
しては難しい

が、景気回復につながる住
宅建築に協力して行きたい。



町長

健康診断 受診の機会を 増やしてほしい

答 岩佐福祉課長

国の指針による、がん健
診は原則として同一人につ
いて年一回行うものとする。
ただし乳がん、子宮がん検
診については原則として二
年に一回行う。

また、前年度受診しな
かった者に対しては積極的
に受診を勧める事になって
いる。この指針に従って毎
年実施しており、日程につ
いては検診センター等との調
整で行っている。

問

六月に集中してい
る健康診断の時期を
分散して、もっと受診の機
会を増やせるようにしてほ
しいという要望がある。
町民の声に沿うような健
康診断のあり方を考えるべ
きではないか。



受診の機会を増やしては

市町村合併に

対する考え方は

必要だが機が熟していない(町長)

福徳重二議員



問

今後、最重要課題になると思われる市町村合併についてどう考えているのか。

答 副町長

県の合併推進審議会

から示された三案とも、道州制を見据えた望ましいプランと歓迎しているが、今後、この案に対する県民の意見を募り、最終案を決定

答 町長

財政状況や人口減少を考

えるのでその動向を注視していきたい。すると合併は必要であり、避けて通れない重要課題であると認識しているが、まだ機が熟していないので行財政改革を進めながら、当面は単独で行かざるを得ない。

ごみ焼却

委託後の状況は

問

四月一日からごみの焼却を小松島市に委託しているが、その後の状況と問題点は。

答 松田住民課長

二カ月余り経過したが、順調に推移している。

一カ月百tの予測が現在九十二t程度だが、今後、ごみが増える時期を迎えるので住民の理解と協力を得て更に減量化、資源化の取り組みを進めて行きたい。



松田住民課長

勝浦病院

必ず存続を

問

院長はじめ職員の努力により現在は安定した経営内容だが、今後、いろいろ問題も出てくると思う。これらをクリアして病院存続に対する町民からの強い期待に応えることができるか。

答 前田病院事務局長

自治体病院として経営内容は良好であるが、国の診療報酬の改定等で収益は年々減少している。



バリアフリー化されている今山集会所

問

各地区集会所のバリアフリーについて数年前から提案してきたが、取り組みの状況は。

答 参事

現在、二カ所で整備されているが、七月に行われる区長会でも十分協議したい。

集会所のバリアフリーの取り組み状況は

また、施設の老朽化や機器の更新にも多額の費用がかかるので大変な時期を迎える。住民サービスの提供を安定的に維持向上させていくためには、経営状態を的確に把握し健全経営に努め、今後とも地域医療の拠点として存続に向け一層努力して行きたい。



6月19日に告示、24日に投開票された勝浦町議会議員選挙で選ばれた、新しい議員の抱負を議席順に紹介します。議席は、当選回数が少ない人、年齢の若い人から順次決めています。

(カッコ内は、年齢・出身地区・当選回数)



2 番議員

国 清 一 治

(58歳・星谷・1回)

政治信条の「子供の未来輝く町に」実現に向けて、安心・振興・光流を柱に、町民とともに取り組んでいきます。



1 番議員

節 公 一

(55歳・横瀬・1回)

行財政改革、地方分権、合併問題等、町政の課題を、住民の皆さんが身近に感じられるよう常に対話を心がけ、一生懸命頑張ります。



7 番議員

大 西 一 司

(58歳・生名・2回)

輝く町、勝浦の再生をめざして、町民の目線に立った行政を推進し、故郷発展のために頑張ります。



6 番議員

井 出 美 智 子

(51歳・今山・2回)

女性の立場で、子育て、介護の思いを伝え、農業振興と元気な町づくりに取り組み、何でも話せる身近な相談相手として頑張ります。



二十一世紀の地方自治体のあるべき姿

勝浦町長 中田丑五郎

議員の皆さま方には、ご当選の栄を得られましたことに心からお慶びを申し上げます。今回の選挙は定数が十人に減り、今後の町政の舵取りに町民の大きな信頼と責任を受けられたものと心から敬意を表するものであります。現在まさに、「二十世紀型」から「二十一世紀型」へと「社会経済システムや価値観」が大きく変化しているところであり、地域間競争がますます激化する中で、あらゆる面において知恵と創意工夫が求められております。勝浦町におきましても今、直面する課題を解決し、将来発生するであろう困難な問題に取り組み、英知を結集して、だれもが安心して暮らせる町づくりを、自分たちの手で実現する重い命題を背負っております。このような大きな変革の時、議員の皆さま方には高い見識と果敢な実行力のもと、町政発展のためご尽力賜りますと共に、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

輝く町をめざし

心新たに 住民と共に歩む

10人の 新 議 員 決まる



5 番議員

松田 貴志

(31歳・棚野・2回)

住民との対話を重視し、新しい勝浦の創造と、スポーツを通して世代間の交流を深め、魅力ある町づくりに取り組みます。



4 番議員

山野 忠男

(69歳・与川内・1回)

住民主導の政治をめざし、農業の振興と福祉の充実、若者の雇用促進に努力し、心身共に豊かな町づくりをしたいと思います。



3 番議員

森本 守

(60歳・中山・1回)

安心して暮らせる町づくりのため、皆さんの声をよく聞き、まじめに一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



10番議員

西浜 勝己

(71歳・棚野・10回)

地方分権の時代、勝浦町の将来に対応できる町づくりに全力を捧げ、そのためにまず、今日一日に最善を尽くします。



9 番議員

森 健

(71歳・石原・4回)

議員活動が、マンネリ化しないためにも「初心忘るべからず」。今期は、沼江バイパス2期工事の推進に取り組みます。



8 番議員

川端 雅夫

(60歳・今山・3回)

町の将来を決める大事な時、町民の意見をよく聞き、活力ある町づくりのため、心新たに頑張ります。

議会構成



改選後の臨時会において、議長、副議長、各委員会委員の選出を行い、新しい議会構成が決まりました。

議長

川端雅夫

副議長

大西一司

総務産建常任委員会

◇委員長 松田貴志

委員 籾 公一

◇副委員長 森本 守

委員 大西一司
委員 森 健

文教厚生常任委員会

◇委員長 井出美智子

委員 山野忠男

◇副委員長 国清一治

委員 川端雅夫
委員 西浜勝己

就任にあたって

臨時議会において議長、副議長に推挙され責務の重大さに身の引き締まる思いです。

微力ではありますが議会の円滑な運営と町政発展に努めて参ります。

本町は現在、行財政改革を断行中ですが、少子高齢化に伴う人口減少や将来の合併問題等、重要課題の解決に向け住民と行政、議会が連携を図り最善を尽くす決意でございます。皆さまのお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。



副議長 大西一司



議長 川端雅夫

新しい

議会広報常任委員会

- ◇委員長 大西一司 委員 国清一治
- ◇副委員長 籾 公一 委員 松田貴志
- 委員 川端雅夫

議会運営委員会

- ◇委員長 森 健 委員 井出美智子
- ◇副委員長 山野忠男 委員 大西一司

市町村合併調査特別委員会

- ◇委員長 西浜勝己 委員 山野忠男
- ◇副委員長 森 健 委員 松田貴志
- 委員 籾 公一 委員 井出美智子
- 委員 国清一治 委員 大西一司
- 委員 森本 守 委員 川端雅夫

東部広域農道整備促進特別委員会

- ◇委員長 西浜勝己 委員 籾 公一
- ◇副委員長 山野忠男 委員 森本 守

勝浦川整備促進特別委員会

- ◇委員長 森 健 委員 森本 守
- ◇副委員長 国清一治 委員 松田貴志
- 委員 井出美智子

小松島市外三町村衛生組合議員

- 国清一治 川端雅夫 西浜勝己

徳島医療福祉専門学校評議員

- 籾 公一 山野忠男 大西一司 西浜勝己

勝浦町土地開発公社理事

- 松田貴志 井出美智子 川端雅夫 森 健

はばだけ！ ちびっ子アスリート

勝浦キッズミニバスケットボールクラブ



今回から町内にあるスポーツ少年団を特集して、選手の声や活動状況などをお伝えします。第1回目に紹介するのは勝浦キッズミニバスケットボールクラブです。平成15年に横瀬と生比奈が合併し誕生したチームで、過去には県大会ベスト4に入るなど県南を代表するチームです。チームを代表してキャプテンの小西恭平君と多田有佳里さんに話を聞きました。

Q 入部のきっかけは

A 小西・多田：3年生の時に、先に入部していた友達や先輩に誘われて楽しそうだったから。

Q 得意なプレイは

A 小西：速攻からのレイアップシュート。
A 多田：ロングシュート。

Q 楽しいときは

A 小西：シュートや速攻を出して得点につながったとき。
A 多田：体の大きな相手を振りきりシュートを決めるときや試合の日お弁当も!?



Q 苦しいときは

A 小西：後輩と一緒にプレイするときにはカバーし助けるので余分に体力を使う。
A 多田：接戦や負けているときは精神的にも体力的にも苦しいが、勝つために頑張る。

Q 最後に今年の目標は

A 小西：県大会で優勝。
A 多田：県大会でベスト8に入ること。



練習日時

生小体育館で
毎週火・木・土の午後5時30分から7時30まで。
土日祝日は試合が入るときも。

* 練習見学や体験入部は随時受け付けています。
連絡先：小西 ☎ 42-3174 (中角)

編集後記



八年ぶりの選挙と定数削減が重なり議員も大幅な入れ替えとなりました。選挙で選ばれた重みを感じながら、現職六人は思いを新たに、新人四人はフレッシュな気持ちで、町の発展に全力投球を誓ってスタートしています。

議会だよりも、改選後から「議会広報常任委員会」として、新人二人が加わり新たな取り組みを進めるなど、早くも息の合った編集作業が行われています。先輩の溝田義昭、国清栄さんが残してくれた貴重な財産を大切に引き継ぎ、委員が心一つにして、町民に期待される議会だよりに行きたいと思えます。(委員長)



広報委員会の新しいメンバー